



嵯峨の福祉

第135号

嵯峨自治会連合会
嵯峨社会福祉協議会

今年4年ぶりに本来の形で実施された嵯峨の2大風物詩である『嵯峨お松明式』と『嵯峨祭』。今号では皆さんに、より理解を深めて頂くため、清凉寺ご住職の鵜飼 光昌さんと「嵯峨祭の歩み」を執筆・出版されました古川 修さんにご寄稿をお願いしました。

嵯峨お松明式は地域の手作りのお祭り

嵯峨釈迦堂 清凉寺 住職 鵜飼 光昌

今年3月15日に、地域の皆様の力強いご支援により嵯峨釈迦堂 清凉寺で、嵯峨お松明式が、4年ぶりに無事に奉修されました。お松明式は京都三大火祭りのひとつです。当日寺院にお出でになって勇壮な姿をご覧頂いた方も多いかと存じます。

お松明式は、地域の手作りのお祭りです。お松明式保存会の皆さんは、お正月に境内で松の小屋建てを行われます。それから山に入られ、松と藤を探されます。ほぼ二カ月、極寒の時期、山を駆けめぐられます。それにもまして気候の変動や、山の手入れが行われにくくなっていることから、材料の入手の困難さが近年益々昂じてきていることが気がかりです。

それに並行して、各自治会ではお松明式の運営費用の寄付を集めてくださいます。このご寄進がありませんとお祭りを行うことができません。大事にご寄進です。

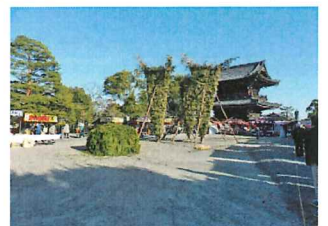


当日にはさらにまた多くの方々のお力を得ます。各寺院、清凉寺檀信徒総代、自治会連合会、お松明式保存

会、警察・消防の方々、消防団・文化財レスキュー隊の皆さん、嵯峨釈迦堂大念仏講、嵯峨大念佛狂言保存会、交通安全・防犯・少年補導の方々、清凉寺ご助力各社、各学校の役員保護者の方々、それに太秦露店組合の皆さんなどです。すべて地域の方々ばかりです。ここに書ききれないほどの多くの方々のそれぞれのお力によってお祭りは行われています。



お松明組立て作業



お松明と露店

600年前の嵯峨祭

古川 修

600年前には、もう嵯峨祭が行われていました。

室町時代のはじめ、1419年4月25日（旧暦）のことです。

この日、公家の中原康富は、友人とこっそり嵯峨祭の見物に出かけました。そのようすが、彼の日記「康富記（やすとみき）」にかなり詳しく書いてあります。

この日まで四、五年の間、嵯峨祭は中断されていました。理由の一つは、愛宕神輿を新造するためでした。

この日、新造された愛宕神輿ともう1基の神輿（野宮神輿と思われる）の計2基が行進しましたが、その他にいろいろな、「風流（ふりゅう、演し物）」も出ましたし、千人近い美しい鎧を着込んだ武者達も随行しました。

この日の「康富記」の記事は、嵯峨祭についての史上初の記録と考えられますが、祭礼の規模も史上最大と言えそうです。



神輿2基とさまざまな演し物、それに千人近い鎧武者が長辻通を行進し、清凉寺内の御旅所に向かう。その様子を、大勢の見物人（一〜二万人と言われている）が見守っていたとのこと。正に圧倒的な印象と言っていいでしょう。

神輿新造と、この様に大規模な祭礼行列の背景には、当時史上最強だった室町幕府と、その中心となる四代将軍 足利義持の支援があったことは、十分に想像できるでしょう。



剣鉾



獅子舞



左のQRコードからカラー誌面をご覧いただけます。

題字左のカット画像は、吉川祥子さんをお願いしております。

生涯学習フェスティバル「第29回 講演のつどい」実施

講 師：国際日本文化研究センター名誉教授 早川 聞多 氏

テーマ：「嵯峨の由来」

日 時：令和5年3月11日（土）

主 催：公益財団法人嵯峨教育振興会

共 催：嵯峨・嵐山・広沢社会福祉協議会／嵯峨・嵐山・広沢自治会連合会ほか

冒頭、主催である公益財団法人嵯峨教育振興会を代表して井上與一郎理事長があいさつ、続いて今回の講師である早川聞多氏による講演が行われました。

テーマは「嵯峨の由来」として、まず嵯峨の地名は嵯峨天皇の離宮が北嵯峨に構えられた時、天皇と親交のあった空海によって、嵯峨の地が唐の長安北方の景勝地“嵯峨山”に由来するのではないかとのことでした。嵯峨の歴史は古墳時代の後半（6世紀）にまで遡り、その後幾重にも様変わりして現在に至っています。

山の名前にしても「愛宕山」のアタゴは高く盛り上がる意の“タコ”が語源で、山頂付近が大きく盛り上がっていることに由来し、また「嵐山」は桂川の荒れた土地の“荒州山”という意であり、「小倉山」は嵐山から愛宕山に続くほの暗い山々といふの“小暗山”の意であったなど、知らないことだらけで大いに勉強になりました。

同様に川の名前、橋の名前の由来の話がありました。続いて嵯峨とゆかりの深い古典文学について源氏物語、小柴垣草紙絵巻、百人一首、嵯峨日記などを取り上げて説明がありました。嵯峨野には鎌倉期から江戸期にかけての数多くの石仏群が現存しますし、さらに嵯峨菊をはじめ仙翁華、嵯峨蒔絵、愛宕硯、嵯峨本、塵劫記など嵯峨が育んだ多くの文化財についてお聞きしました。

当日は、3年ぶりの開催ということもあり、会場が満席になるほど多くの方が参加されました。今回の早川さんの講演をもとに今1度地元を歩いてみられては如何でしょうか。なお、講演には、手話通訳と要約筆記も実施されました。



第20回 京都さがの手話まつり開催

『手話まつり』は社会福祉法人全国手話研修センター設立以来毎年、ろう・難聴・中途失聴者、盲ろう者、手話関係者、地元の方々との交流を通じて広く手話の普及を図るため開催しています。地域の聴覚障害者協会や手話関係団体、自治会、商店街、社会福祉協議会等で実行委員会を構成しています。

本年度は全国手話研修センター創立20周年を記念して3月19日（日）に開催しました。ステージ発表やダンス、模擬店、手話体験、さかの映像祭の動画上映や指文字の消しゴムはんこを使ったオリジナルの竹しおり作りのキッズコーナー、また晴天の中で嵯峨・嵐山をめぐるウォークラリーも開催され、手話を知らない方にも楽しんでいただくことができました。



手話体験コーナー



指文字スタンプで竹しおりづくり

令和5年度 役員名簿一覧（順不同、敬称略、抜粋）

【令和5年4月1日現在】

嵯峨自治会連合会

自治会連合会 会 長	村上 泰章
自治会連合会 副 会 長	吉田 吉彦
自治会連合会 副 会 長	森 孝男
自治会連合会 会 計	新実 倫子
自治会連合会 常任幹事	河原 節治
自治会連合会 常任幹事	森垣 哲夫
自治会連合会 常任幹事	油 睦子
自治会連合会 常任幹事	大谷 景子
自治会連合会 顧 問	妻鳥 満
自治会連合会 会計監査	(鳥居本 自治会長) 池田 英次
	(龍門 自治会長) 松山 光次

嵯峨消防団

副団長（右京区）	小畑 有司
分 団 長	山田 栄次
副 分 団 長	竹中 敏和
	十倉 宏始
	平林 良伸
	本田 弥須夫

自治会長

No.	町 名	自治会長
1	清 滝	青木 圭二
2	鳥 居 本	池田 英次
3	中 院	山下 貴子
4	小 倉 山	松原 泰子
5	大 門	松田 英男
6	北 嵯 峨	荒川 雅史
7	観 空 寺	山田 稔
8	西 井 頭	式部 五男
9	井 頭 市 営	木村 幸治
10	井 頭	岸 由紀
11	小 測	宮本 修子
12	北 堂ノ前	川島 宏美
13	堂 ノ 前	小笠原弘士
14	八 軒	岡村 彰文
15	椎 野	小池 行弘
16	広 道	文字 功
17	若 宮	上野 義栄
18	裏 柳	王生 兼一
19	立石市営	尾崎 明佳
20	瀬 戸 川	牧村 智正
21	野々宮	江村 俊夫
22	北造路府営	平石 奈美子
23	ガーデン嵐山	大嶋 博規
24	嵐山本町	細川 政裕
25	長 辻	中川新八郎
26	造 路	大邊 誠
27	龍 門	松山 光次
28	角 倉	山口 隆

嵯峨体育振興会

会 長	西田 典生	ス ポ ー ツ 推 進 委 員	西田 英弘
副会長(会計)	才門 俊文		高屋 雅由
副会長(スポーツ推進員)	鳥羽 要		植田 えり
副会長(運営)	小松 史征	副 会 計	徳永 加恵
副会長(総務)	木村 昭成	会 計 監 査	林 徹
副会長(総務)	新納 哲		徳舛 秀治
顧 問			井上與一郎

右京少年補導委員会 嵯峨支部

支 部 長	森 浩一	企 画 補 佐	加藤 行雄
副 支 部 長	内藤 隆文		小坂 眞太郎
副支部長会計	今井 正浩	補 導 補 佐	倉田 高志
会 計 補 佐	小北 悌弥		松岡 暢子

学校関係

京都市立嵯峨小学校	校 長	加地 知子
	教 頭	櫻本 泰司
京都市立嵯峨中学校	校 長	山崎 直人
	教 頭	藤橋 忍
京都府立北嵯峨高等学校	校 長	池辺 純次
	副校長	岩木 泰孝

嵯峨小学校 PTA

会 長	松井 滋	副 会 長	徳山 昌子
副 会 長	黒川 梨花		廣澤 秀美
庶 務	塩見 明子	会 計	井垣まなみ
	野呂 諭美		

華道体験を活かした『花校路』

大覚寺で嵯峨御流の講師のもと、嵯峨小学校6年生の華道体験が2月にありました。

その体験を活かし、自作の花器に生け、生け花の作品展が行われました。

題して嵯峨「花校路」。廊下が花香る素敵通路になりましたので、ご紹介いたします。



嵯峨社会福祉協議会

区分	広報部	研修部	高齢者福祉部		児童福祉部
			託老企画部	託老事業部	
部長	(副会長) 高井 信樹	(副会長) 中口美恵子	(会長) 浅田 福子	(副会長) 山田 英子 小川久美子	(副会長) 河原 敬子
担当委員	野田 和子	内田 良一	(託老会計)	中山 晶	東坂美智子
	細川 恒治	永濱裕加里	上田 恵子	小畑友紀恵	吉田まゆ美
	中川新八郎	江端 憲一	上田 好一	宮川 進子	木村 恵子
			鷹尾つる恵	河瀬久仁子	富山 清美
			桐野 桂子	小丸くにゑ	佐々木さゆみ
			山田 和男		
			山口 昌子		
			五十嵐正昭		
			宮島 克秀		
			山田 孝雄		
		河原 節治			
		木村 恵			
会計				安達由紀子	
会計監査		井上 廣		小畑美智子	
顧問			加藤 晴夫		

※高齢者福祉施設

施設	氏名
高齢サポート 嵯峨	久志千恵美
	亀井 慶子
	西田香代子
	小室 尊裕
	鈴木みちる
	馬場 理裕
社会福祉法人 健光園	神取 浩一
社会福祉法人 嵐山寮	秋元 岳
	高山 佐織
	大塚 大助

理事：自治会連合会会長および副会長、民生児童委員協議会会長、社会福祉協議会会長
評議員：自治会長、民生・児童委員、老人福祉員、社会福祉協議会委員

嵯峨民生児童委員協議会

嵯峨交通安全推進会

区分	氏名	担当自治会名・(地域)	
会長	内田 良一	井頭、八軒	
副会長	井上弘太郎	大門、裏柳	
	田中美恵子	ガーデン嵐山、龍門	
民生・児童委員	伊藤 友子	若宮町	
	加茂 久代	椎野、広道	
	古川眞智子	北嵯峨	
	河原 節治	西井頭、井頭市営	
	寺町 邦昭	越畑、檜原	
	松尾 綾子	水尾	
	大槻 泰人	清滝、鳥居本	
	佐野 行則	瀬戸川、立石市営	
	河原眞由美	観空寺	
	小川久美子	長辻、嵐山本町、造路	
	岸谷 壽美	野々宮、北造路府営	
	上田 恵子	堂ノ前、北堂ノ前、小淵	
	小寺 誠	角倉	
	大澤 咲子	中院、小倉山	
	濱崎勢津子	【主任児童委員】嵯峨全域	
	北村 祐子	〃 嵯峨全域	
	老人福祉員	森下 洵子	北嵯峨、観空寺、西井頭
		藤本久美子	八軒、堂ノ前
		野中 淑子	井頭、井頭市営、大門
		木ノ下乃里子	龍門、角倉
加藤 優樹		小淵、北堂ノ前	
石原 芳江		清滝、鳥居本、中院	
荒川文沙子		小倉山、立石市営、裏柳	
小林あずさ		若宮、椎野、広道	
成子 定直		長辻、天龍寺府営、造路、嵐山本町	
長谷川千春		野々宮、瀬戸川、ガーデン嵐山	
田中 待子	越畑、檜原		
辻 光恵	水尾		

会長	安田 昭一	会計監査	大久保昭夫
副会長	井上 栄子		佐藤 博子
副会長	鳥山 清美	顧問	井上與一郎
会計	林 順子		

右京防犯推進委員連絡協議会 嵯峨支部

支部長	池田 均	副支部長・会計	河原真由美
副支部長	森下 洵子	総務	江村美津江
副支部長	畑 保夫		

【健康すこやか学級】
『たくろう会』へのお誘い

地域の65歳以上の方々を対象に多彩なプログラムを企画して楽しいふれあいの集いを月に2回開催しています。日程は6ページの予定表通りですが、状況次第で変更もあり得ますので、下記3名までお気軽にお問い合わせください。万全の感染予防対策を実施してお待ちしております。

☆社会福祉協議会

企画部 浅田 福子 (☎871-3226)
事業部 山田 英子 (☎882-5250)
小川久美子 (☎881-2673)

大覚寺（大沢池）にてお花見実施

4月3日（月）、今年は早い開花であった桜も何とか持ちこたえ、晴天にも恵まれ大覚寺大沢池入口に10時に集まりました。参加者は約20名でお手伝いの社協ボランティア20名を含め総勢40名ほどになりました。

日本最古の庭池である大沢の池の桜や他の草花を愛でながらゆっくり池畔を散策しました。幸い観光客は多くなく聖天堂にお参りしたり天神島に渡ったり、名古屋の滝跡を確認したりと名勝を鑑賞しながらいつものお仲間同士おしゃべりもつきません。疲れたら石仏群のある護摩堂に腰かけて池の対岸にある桜を眺めました。1時間余りでしたが、日頃は味わえない皆さん一緒の散策で楽しいひと時だったとお声が多かったです。

散策後、記念写真を撮りお花見弁当をお土産に帰路につきました。



令和5年度 嵯峨社会福祉協議会 評議員会開催

4月19日（水）19時より嵯峨小にて掲題「評議員会」を開催しました。コロナ禍により直近3年間は人数を絞って実施していましたが、今回は自治会長、民生児童委員協議会、社会福祉協議会の委員合計68名の出席のもと、昨年度の実績ならびに会計報告、今年度の計画・予算について担当役員より説明、議案審議を行いました。結果いずれの議案も異議なく承認されました。

会計報告ならびに予算、今年度の主な行事については本誌最終ページに記載されておりますのでご覧ください。今年度も皆さまの積極的なご参加、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



子育てほっとサロン

嵯峨民生児童委員協議会主催の「子育てほっとサロン」を今年度も実施していきます。
毎月、原則第2水曜日10：30～11：45、嵯峨小学校視聴覚室をお借りし、0歳～2歳前後のお子さんとその保護者を対象に、各月ごとのプログラムと自由交流の場として実施しています。
また、年2回、特別のプログラムを計画しています。

嵯峨民生児童委員協議会

会長：内田 良一

主任児童委員：濱崎 勢津子／北村 祐子

この広報誌は皆様のご好意、ご協力をえた社会福祉賛助会費および共同募金の財源を活用し発行しています。

令和5年度 年間行事予定表

嵯峨社会福祉協議会事業ほか

月	日	曜	行事内容など	備考
6	1	木	広報誌「嵯峨の福祉」第135号発行	
	10	土	たくろう会	
	24	土	たくろう会	
7	8	土	たくろう会（紙芝居など）	
	22	土	たくろう会（陶芸教室）	
9			右京区社会福祉大会	
	7	木	広報誌「嵯峨の福祉」第136号発行	
	9	土	たくろう会（健康教室）	
	23	土	たくろう会	
10	1～31		「赤い羽根」共同募金 募金活動月間	京都府共同募金会
	7	土	たくろう会（絵画）	
			「おやこの広場」で車イス体験コーナー開設	嵯峨小 PTA 主催
			福祉ボランティア社協フェスタ	ひと・まち交流館
			小学2年生の高齢者疑似体験学習お手伝い	嵯峨小
11			「嵯峨校児童と高齢者の敬老交流会」	嵯峨小 体育館
			右京区民「ふれあいフェスティバル2023」	太秦安井公園
			「生涯学習フェスティバル」講演のつどい	3社協で企画
	25	土	たくろう会（手芸）	
12	1～31		令和5年度 右京区社会福祉協議会 賛助会員募集	
	7	木	広報誌「嵯峨の福祉」第137号発行	
	9	土	たくろう会（防災教室）	
令和6年1			京都市社会福祉大会	
	8	祝	第13回「嵯峨小学校の児童と保護者のグラウンドゴルフ大会」	嵯峨小
			小学1年生の「ふゆあそびをたのしもう」学習のお手伝い	嵯峨小
2			たくろう会 新年親睦会	コミュニティ嵯峨野
	10	土	たくろう会（健康教室）	
3	7	木	広報誌「嵯峨の福祉」第138号発行	
	9	土	たくろう会（1年を振り返って、ガーデニング）	

- ◎研修部 ボランティアスクールの開催などは日時未定です。
 - ◎すこやかカフェしゃか 毎月第3火曜日10時～12時、場所 西井頭町会議所
4/18、5/16、6/20、7/18、9/19、10/17、11/21、12/19、1/16、2/20、3/19
 - ◎カフェくるまみち 毎月第1火曜日10時～12時、場所 JR 嵯峨嵐山駅下ル 京都新聞販売所北
4/4、6/6、7/4、8/1、9/5、10/3、11/7、12/5、2/6、3/5
- 【注】以上の予定は変更となる場合があります。

令和5年度 嵯峨社会福祉協議会 収支予算

会長：浅田 福子 会計：安達 由紀子 （単位：円）

収入の部		令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	支出の部		令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
前年度繰越金		1,918,731	2,168,932	児童と高齢者の交流会費		290,873	400,000
交付金	在宅老人ふれあいのまちづくり事業	100,000	100,000	事業費	健康すこやか学級事業費	225,291	300,000
	共同募金配分金	392,500	350,000		広報誌発行事業費	330,880	400,000
	賛助会費還付金	307,730	300,000		地域福祉活動費	22,288	30,000
	健康すこやか学級事業	234,000	200,000		ボランティアスクール開催費	0	20,000
助成金	広報誌発行事業	180,000	180,000		研修費	12,000	50,000
	ボランティアスクール事業	0	10,000		重点活動プラン	15,773	20,000
	地域の絆づくり事業	0	10,000		備品購入費	53,980	100,000
	学区社協重点活動プラン	16,246	10,000	庶務費	135,685	200,000	
	学区社協感染症対策事業	53,980	0	渉外交際費	47,500	50,000	
地域祭・福祉大会開催事業		0	50,000	予備費	0	1,928,947	
(財)嵯峨教育振興会助成金		100,000	100,000	次年度繰越金	2,168,932	0	
雑収入		0	20,000	合計	3,303,202	3,498,947	
預金利息		15	15				
合計		3,303,202	3,498,947				